

表面保護テープ	DD-125-02
IVY 1920	2012.08.02

製品安全データシート

【1】 製造者情報

会社名； 大協技研工業株式会社
 住所； 神奈川県座間市栗原 9 2 0 - 3
 担当部門； 管理部 品質保証課
 担当者（作成者）； 嶋田 賢治
 電話番号； 0 4 6 - 2 5 2 - 9 3 1 1
 F A X 番号； 0 4 6 - 2 5 2 - 9 3 2 2
 緊急連絡先； 担当部門と同じ
 作成日； 2009 年 12 月 24 日
 改定日； 2012 年 8 月 2 日 【0 2 版】

【2】 整理番号 DD 1 2 5

【3】 製品名（化学名、商品名 等）

表面保護テープ IVY 1920

【4】 物質の特定（登録、規制 等）

単一製品・混合物の区別； 混合物

化学品；

成分及び含有量； ポリエチレン 9 0 以上 Wt%
 アクリル酸エステル共重合体 1 0 以下 Wt%

化学式又は構造式；

化審法 既存化学物質登録 ； ポリエチレン 6 - 1

安衛法官報公示整理番号； 対象外

C A S No . ; ポリエチレン 9 0 0 2 - 8 8 - 4
 アクリル酸エステル共重合体 非開示

国連分類及び国連番号；

【5】 危険有害性の分類

分類の名称； 分類基準に該当しない。

危険性； 可燃性固体であり消防法指定可燃物にあたる。

有害性； 認められない。

環境影響； データなし。

表面保護テープ	DD-125-02
IVY 1920	2012.08.02

【6】 応急措置

目に入った場合； 通常は可能性なし。目に入った場合は清浄な流水で目を洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合； ゆっくりと剥がし、皮膚に刺激を感じた場合は直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合； 吸入の可能性なし。

飲み込んだ場合； 嘔吐させた後、直ちに医師の診断を受ける。

【7】 火災時の措置

消火方法； 一般的な消火方法による。

消火剤； 泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水、等

【8】 漏出時の措置

該当しない。(ロール状の固体のため漏出しない。)

【9】 取扱い及び保管上の注意

取扱い； 一般的な可燃物の取扱いによるが、製品の品質を保つ為、過度な衝撃、積み重ねは避けること。

保管； 一般的な可燃物の保管によるが、製品の品質を保つ為、保管条件は常温常湿とし、直射日光や高温、高湿の場所は避けること。

【10】 暴露防止装置

管理濃度； 設定されていない。

許容濃度；日本産業衛生学会（ 年度版）： 規定されていない。

設備対策；ACIGH（ 年度版）： 規定されていない。

保護具 呼吸用保護具； 特に必要なし。

保護眼鏡； 特に必要なし。

保護手袋； 特に必要なし。

保護衣； 特に必要なし。

【11】 物理/化学的性質

外観等； ロール状粘着テープ

沸点； 蒸気圧； 揮発性；

融点； 90~145 比重； 0.88~0.95 初留点；

溶解度； その他；

表面保護テープ	DD-125-02
IVY 1920	2012.08.02

【12】危険性情報 (安定性・反応性)

引火点； 200 以上 発火点； 340 以上 爆発限界 上限： 下限：
可燃性；あり
発火性（自然発火性、水との反応性）；特になし。
酸化性；なし
自己反応性・爆発性；なし
安定性・反応性；一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。

【13】有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性；特になし
刺激性（皮膚、目）；長時間皮膚に貼り付けた状態であると、個人差はありますがかぶれる恐れがあります。
感作性；知見なし
急性毒性（50%致死量等を含む）；知見なし
亜急性毒性；知見なし
慢性毒性；知見なし
がん原性；知見なし
変異原性（微生物、染色体異常）；知見なし
生殖毒性；知見なし
催奇形性；知見なし
その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）；知見なし

【14】環境影響情報

移動性； 知見なし
残留性／分解性； 知見なし
生体蓄積性； 知見なし
生態毒性； 知見なし
有害重金属； 鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、など使用していない。
オゾン層破壊物質； 使用していない。

【15】廃棄上の注意

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従い、公認の産業廃棄物処理業者または自治体に処理を委託する。

表面保護テープ	DD-125-02
IVY 1920	2012.08.02

【16】 輸送上の注意

転倒、落下、損傷、汚れ等がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。

【17】 適用法令

消防法 指定可燃物（合成樹脂類）

記載内容の取り扱い

この危険有害性情報は、工業的用途について一般的な取扱い等を前提に作成したものです。従って、実際の取扱い等においては、ここに記載した危険有害性情報を参考にし、十分な注意の上取扱って下さい。

以上